

PARKING

No.252

2025.10

各地駐車協会総会報告
情報発信「アンテナ」(第25回)
「ちょっとミライの駐車場について その2」

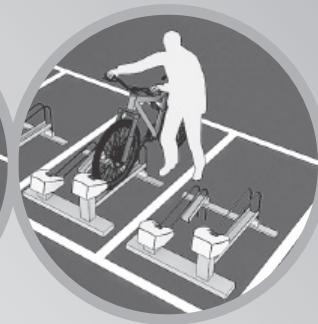
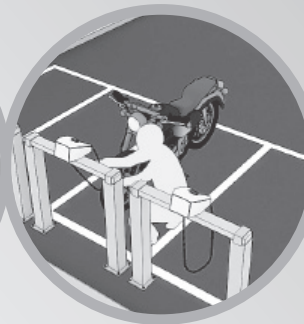


先進技術がつくる、 安心・安全のパーキングシステム

ロック板
システム



車番認識
システム



駐輪・駐バイク
システム



車路管制
システム

* 駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく
三菱フレイション株式会社
本社・営業本部
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川8階
<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先
駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732
中部支社 052-961-3557 静岡営業所 054-204-4505
関西支社 06-6484-7206 中四国営業所 082-546-2176
北海道営業所 011-213-7826 九州営業所 092-273-0880
東北営業所 022-216-4615

機械式
**駐車場・駐輪場の
メンテナンス**

・ 定期点検 ・ 緊急出動 ・ 故障修理

- 日本全国OK !!
- 24時間365日OK !!
- 大小問わずOK !!
- 合理的な料金でOK !!

**遠隔監視システム
での無人管理OK**



一般社団法人東京駐車協会賛助会員

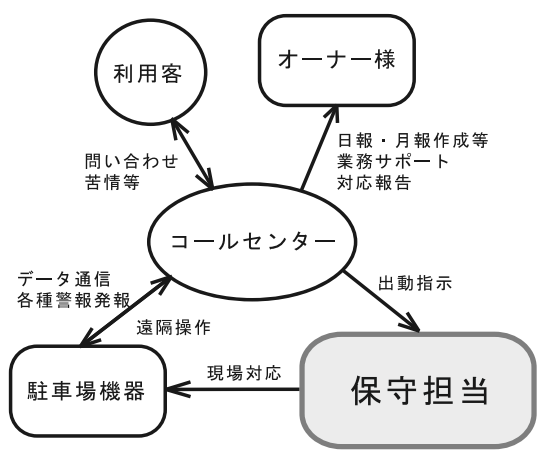
【お問い合わせ】 **日本駐車場救急サービス株式会社**

パーキングシステムソリューションをご提案、富士ダイナミクス



24Hr. 365日対応 駐車場メンテナンスサービス

コールセンターシステム フェイスー
FACE
Fuji-Dynamics Advanced Callcenter in Every way



三菱プレジジョン (株) 代理店 株式会社 富士ダイナミクス

技術/信用/実績でお応えします。 **FDC** ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| ●本社 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL 03 (3793) 5411 | ●営業本部 東京都目黒区東山1-4-4
目黒東山ビル4階
TEL 03 (3793) 7411 | ●仙台営業所 仙台市太白区富沢1-11-21
TEL 022 (244) 5461 |
| ●名古屋営業所 名古屋瑞穂区大喜新町1-2-6
ロイヤル牛巻第1 2階
TEL 052 (883) 0700 | ●大阪営業所 大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL 06 (6325) 2761 | ●福岡営業所 福岡市博多区中呉服町3-10
勝治呉服町ビル
TEL 092 (282) 3491 |
| ●丸の内サービスセンター 東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビル4階 421
TEL 03 (3287) 0594 | ●横浜サービスセンター 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー29階
TEL 045 (224) 2256 | ●湘南事業所 鎌倉市山崎662-2
TEL 0467 (45) 6867 |
| ●湘南サービスセンター 鎌倉市山崎662-2
TEL 0467 (45) 6867 | ●羽田サービスセンター 東京都大田区羽田空港3-3-2
東京国際空港旅客ターミナルビル
三菱プレジジョン株式会社内
TEL 03 (5756) 7245 | ●さいたま出張所 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パーキングセンター内4F
TEL 048 (764) 9290 |
| ●相模原出張所 相模原市中央区矢部1-3-14
大河原ビル201号室
TEL 042 (730) 6611 | | |

人とクルマのためのエコ・パーキングシステム

日本信号の 駐車場・駐輪場

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」
安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、
これからのパーキングシステムを考える日本信号。



日本信号エコ・パーキングシステム

- QRコード駐車券
- 省電力表示機器：ハーフLCD
- LED蛍光灯採用表示板
- 太陽光発電駐車場・駐輪場



ゲート式駐車場管理システム



ゲート式駐車場管理システム



パークロック駐車増管理システム



サイクルロック駐輪増管理システム



バイクロック駐車増管理システム



ゲート式自転車・バイク駐車増管理システム

 日本信号株式会社

<http://www.signal.co.jp/>

■AFC事業部 AFC営業部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング 13階)
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

- 本 社 〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)
PHONE:(03)3217-7200 (代) FAX:(03)3217-7300
- 大 阪 支 社 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 (大阪富国生命ビル)
PHONE:(06)6312-3851 (代) FAX:(06)6312-8597
- 北 海 道 支 店 〒090-0032 札幌市中央区北二条西3-1 (太陽生命ビル)
PHONE:(011)271-4161 (代) FAX:(011)221-1705
- 東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13大和証券仙台ビル11F
PHONE:(022)251-8371 (代) FAX:(022)225-4527
- 中 部 支 店 〒430-6340 名古屋市中村区名駅1-14 (JRセントラルタワーズ)
PHONE:(052)256-2951 (代) FAX:(052)256-2979
- 九 州 支 店 〒810-0341 福岡市中央区大名2-4-30 (山崎ビル)
PHONE:(092)777-9175 (代) FAX:(092)714-8127

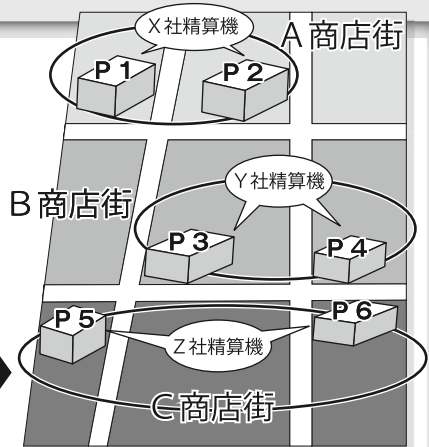
「全日駐規格・汎用（共通）サービス券」システム「リニューアル」

～コンパクトシティ施策の
推進・地域活性化に向けて～

現状の問題点

- 精算機メーカー毎に各社個別の磁気式サービス券を使う必要がある。
- メーカー共通の磁気式サービス券がないため、クーポン券式サービス券を有人対応で使用すると、24H営業・無人化が難しい。

A、B、Cの各商店街はそれぞれ別々のサービス券が必要です



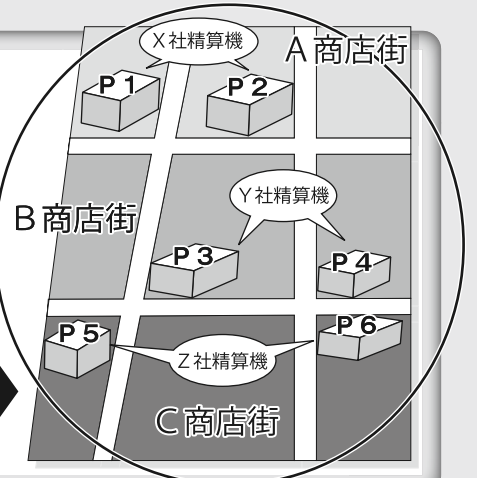
解決

カードリーダーやソフトウェア改修等

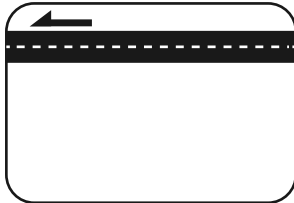

共通サービス券システム

- メーカーが異なる複数の精算機で、汎用（共通）で使える磁気式サービス券です。
- 料金サービスを共通化できます。
- 自動精算機がある場合、24H営業・無人化も可能になります。

A、B、Cの各商店街で発行したサービス券が全ての駐車場で使用できます



サービス券が2種類に！
選択可能になりました！

現行仕様（制式スペック1）	追加仕様（制式スペック2）
JIS II型相当品	JIS II型相当品
カード上面に磁気記録層ストライプ	カード下面に磁気記録層全面コーティング
	

■お問い合わせ先

一般社団法人全日本駐車協会
TEL 03(3528)8305

■対応精算機メーカー

アマノ株式会社
日本信号株式会社
三菱プレジジョン株式会社
株式会社サニカ

TEL 045(439)1516
TEL 03(3217)7373
TEL 03(6712)1732
TEL 055(284)2413

目 次

PARKING No.252 / 2025・10

目 次 5

□各地駐車協会総会報告 6

山形駐車協会 埼玉駐車協会 大阪駐車協会
岡山駐車協会 高松市駐車場協同組合

□駐車場コラム14

名古屋大学環境学研究科 准教授 井料 美帆

□情報発信「アンテナ」(第25回)
「ちょっとミライの駐車場について その2」
.....17

三菱地所パークス株式会社
執行役員 コンサルティング営業部長
増田 高明

□PARKING NOW31

■「平和島自動運転協議会」の意義と今後の
展望について
株式会社東京流通センター
運営管理部 係長 糸数 大地
・「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

□PARKING IN TOKYO36

■令和7年度第3回定例理事会報告
■令和7年度第4回定例理事会のご案内
■委員会報告

[表 紙]

「平和島自動運転協議会」拠点
＜東京流通センター外観＞
表紙についてはP.31をご覧ください。

□事務局だより37

■令和7年度第3回理事会のご案内
■令和8年新年賀詞交歓会のご案内
■令和8年新春駐車場研修会のご案内
■令和8年春季駐車場研修会のご案内
■新会員のご紹介
・株式会社アズーム
■委員会報告
■諸会議等報告
■会員動静
・表紙題材募集のご案内
・全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い
■お詫び「一般社団法人全日本駐車協会 役員
名簿」の表記間違い

P R

アマノ株式会社P25・裏表紙
日本信号株式会社 P3・P29
日本駐車場救急サービス株式会社 P1・P28
株式会社富士ダイナミクス P2・P24
三菱地所株式会社 裏表紙裏
三菱プレジジョン株式会社 表紙裏・P26
公益社団法人立体駐車場工業会 P27

協会事業のご案内

「全日駐規格・汎用(共通)サービス券」システム P4
駐車場案内標識のご案内 P42

□各地駐車協会総会報告□

山形駐車協会 令和7年 通常総会

- 1 日時 令和7年6月25日(水)16時00分～
- 2 場所 山交ビル7F ヤマコーホール
- 3 出席人員
出席：正会員6社 賛助会員1社
欠席委任状：正会員4社 賛助会員1社
- 4 山形駐車協会通常総会 議事
第一号議案 令和6年度事業報告
令和6年度会計報告
第二号議案 令和7年度事業計画
令和7年度予算計画
第三号議案 事務局変更の件
アマノ(株)山形営業所から
(株)ひろあきに変更
第四号議案 その他
上記議案は原案通り可決成立

<令和6年度事業報告>

(1)通常総会

- 日時 令和6年5月28日(火)
場所 山交ビル ヤマコーホール
第一号議案～第三号議案 原案通り可決

(2)山形駐車協会例会

- 日時 令和6年8月23日(金)
場所 山交ビル ヤマコーホール
議題 山形市内駐車場条例施行後の状況
七日町再開発に伴う駐車場の在り方
意見交換会

(3)山形駐車協会研修会(新潟駐車協会訪問例会)

- 日時 令和6年11月21日(木)
場所 ホテルイタリア軒4F(新潟市)

- 議題 新潟市内駐車場の視察
新潟駐車協会様との意見交換会
出席者 新潟駐車協会 富山会長ほか5名
山形駐車協会 3名

(4)山形駐車協会例会

- 日時 令和7年3月14日(金)
場所 山交ビル ヤマコーホール
議題 最近の駐車場システムの研修
アマノ株式会社山形営業所
佐藤守彦所長
今後の山形駐車協会の運営について

<令和7年度事業計画>

- 1 例会において各駐車場の状況報告、改善等の事例報告を行い、互いに情報を共有し問題・課題の共通認識を図る。
- 2 行政各機関および各関係機関との中心市街地における駐車場のあり方について、継続協議していく。
- 3 駐車場に関する情報交換と懇談会を開催する。
- 4 会員駐車場が抱える共通問題の解決を図るため、研修会等を実施する。
- 5 全国交通安全運動の実施に協力する。
- 6 駐車場内の事故防止・犯罪対策・飲酒運転撲滅運動を推進する。
- 7 全国および東北地区の駐車協会参加による情報交換を行う。

以上

山形駐車協会 役員名簿

令和7年6月25日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	齋野 五兵衛	株式会社 ひろあき
理事	渡邊 俊	一般財団法人 山形市都市振興公社
〃	佐々木 三千代	有限会社 越後屋
監事	斬波 誠	合同会社 本町ビル
〃	吉田 研二	ヨシダパーキング

□各地駐車協会総会報告□

埼玉駐車協会 第45回定期総会

1. 日 時

令和7年6月2日(月)

午後0時00分～午後0時30分

2. 場 所

ヴェルヴィ大宮サンパレス

3. 出席人員 議決票人員

本人出席 10名

委任状 6名

計 16名

会員 正会員 16名 賛助会員 4名

計20名

4. 議 案

第1号議案 令和6年度 活動報告

原案通り承認

第2号議案 令和6年度 会計報告

監査報告

原案通り承認

第3号議案 令和7年度 活動方針

原案通り承認

第4号議案 令和7年度 予算案

原案通り承認

第5号議案 規約変更の件

原案通り承認

第6号議案 役員変更の件

原案通り承認

第7号議案 賛助会員入会の件

原案通り承認

全議案について、出席者全員の賛成を

得、原案どおり承認可決された。

5. その他

議事以外、特段なし

6. 議事のうち、主要事項

(1)令和6年度活動報告

- ①西武鉄道所沢車輛工場跡地に開設されたショッピングモール「エミテラス所沢」視察。令和6年7月に完成、地上7階建ての大型店舗で総工費290億、店舗数142店舗、駐車台数1700台。

視察内容：

- ・チケットレスシステム(入口はゲートレス、出口はゲート+精算機、AIカメラを使用、リアルタイムで状況を把握する)
- ・買い上げサービス(QRサービス券を用意し、店舗ごとに買い上げの金額に合わせたサービス券を発行し、来客に駐車料金の負担をかけないようにする)

- ②一般社団法人全日本駐車協会行事への参加
6月：総会後見学会(麻布台ヒルズの視察、宇都宮の路面電車・ライトレールの乗車等を訪問・視察)

10月：令和6年秋季駐車場研修会(イギリス・ロンドン、ドイツ・シュトゥットガルト、フランクフルトの駐車場施設を訪問・視察)

3月：令和7年春季駐車場研修会(羽田空港駐車場施設の視察、全日空の羽田機体工場の視察)

今後も会員ニーズの把握に努め、活動を

進めていく。

(2)令和7年度活動方針

基本方針

- ①駐車場研修会および懇親会の開催
- ②全日本駐車協会の機関誌「PARKING」
の配布および春秋研修会・見学会の開催
- ③全日本駐車協会第64回通常総会および意見交換会・見学会に参加
- ④埼玉駐車協会ホームページの運営

施 策

- ①ホームページの運営
- ②新規会員の募集
- ③駐車場利用促進のための駐車場改革推進協議会への参加
- ④会員駐車場の実態調査

以上

埼玉駐車協会 役員名簿

令和7年6月2日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	中 村 茂	(株)マサキ管理サービス
副 会 長	久保田 一 男	(株)パークワン
〃	小谷野 堅太郎	(株)寿屋
会 計	橋 本 直 子	(有)西橋商事
監 事	逸 見 裕 一	大宮ガレージ(株)
相 談 役	嶋 田 剛	(有)大宮駐車場
事務局長	嶋 村 健太郎	(株)さいたまシステム

□各地駐車協会総会報告□

一般社団法人大阪駐車協会 第37回通常総会

日 時：2025年6月30日

案の件

場 所：松栄株式会社 会議室

第4号議案 2024年度収支予算

(大阪市港区南市岡2-10-17)

案の件

理事総数：8名 出席理事 3名

第5号議案 役員改選の件

城阪勝喜 小川潔 菅沼健太郎

いずれも原案どおり承認可決された。

監事総数：2名 出席監事 1名 井上巨太郎

(2)理事会

議 事

日 時 2024年7月8日

1 報告事項

議 事 第36回通常総会開催の件

第1号議案 2024年度事業報告の件

2025年度事業計画

第2号議案 2024年度決算報告の件

1 関係官庁の行事等への参画

2 決議事項

(1)「全国交通安全運動」に伴う各種行事等に参画する。

第3号議案 2025年度事業計画案の件

2 路上駐車追放推進事業の実施

第4号議案 2025年度収支予算案の件

(1)路上駐車追放を図るための広報。啓発用資料の作成・配布。

第5号議案 理事選任の件

(2)駐車場案内統一表示版の設置を企画する。

理事 小田井和彦は退任し後任として沢田芳之を選任

3 駐車場事業の適正な運営の推進

理事 城阪勝喜 菅沼健太郎 小川潔 望月靖允 沢田芳之

(1)駐車場事業の経営、管理の改善に関する調査・研究を実施する。

大西尚光 西口和広 松田晃治

4 関係行政機関との連携強化

以上、全議案理事・監事及び正会員の全員の同意により可決。

(1)警察本部及び各警察署が行なう交通警察行政並びに地方自治体等が主唱する交通安全行政に積極的に協力する等連携強化する。

2024年度事業報告

(2)必要により担当官の派遣を求め、研修等において指導を受ける。

1 総会・理事会

(1)第36回通常総会

日 時 2024年7月8日

議 事 第1号議案 2023年度事業報告の件

5 会員研修会の実施

第2号議案 2023年度収支決算の件

(1)駐車場経営・管理に関する研修会を実施する。

第3号議案 2024年度事業計画

- (2)交通安全対策研修会を実施する。
- (3)業務関連事故防止対策研修会を実施する。

6 組織の充実強化等

- (1)組織拡大のため未加入に対して加入勧奨する。
- (2)近畿圏連絡会議の実施を提唱する。

7 その他のサービス業務

- (1)自動車保管場所証明申請者の利便を図るため、駐車場契約手続き等に関する教示、指導をする。

会員(正会員)の状況(2025年6月30日現在)

大阪東駐車協会
 大阪法人駐車協会
 港区駐車場協会

以上

一般社団法人大阪駐車協会 役員名簿

2025年6月30日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	城 阪 勝 喜	松栄ホールディングス株式会社
副 会 長	菅 沼 健太郎	三菱地所株式会社 関西支店
〃	小 川 潔	三泉商事株式会社
理 事	望 月 靖 允	望月ビル株式会社
〃	沢 田 芳 之	銀泉株式会社
〃	大 西 尚 光	大阪港振興株式会社
〃	西 口 和 広	西口登記測量事務所
〃	松 田 晃 治	サンゼンハイツガレージ
監 事	浜 口 賢 二	株式会社 浜口組
〃	井 上 巨太郎	行政書士法人 井上総合事務所

□各地駐車協会総会報告□

岡山駐車協会 令和7年度(第55回)通常総会

①日時：令和7年7月29日 11時00分～

②場所：岡山市中区浜2-3-12

岡山プラザホテル

③出席人数：会員 10名(10団体)

(会員14団体+賛助会員3団体=計17団体)

④議事 議案

第1号議案 令和6年度事業報告承認の件

第2号議案 令和6年度収支決算承認及び監査報告の件

第3号議案 令和7年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和7年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 令和7年度役員について

以上が承認されました。

⑤懇談会

総会後の懇談会では、参加会員の近況報告を行いました。

各会社の状況報告、再開発のマンション建設状況や他の建設予定等の話題ができました。

55周年記念旅行やゴルフ等の開催準備についても話し合いをしました。

以上

岡山駐車協会 役員名簿

令和7年7月29日現在

役職名	氏名	会社名等
会長	藤井 一也	有限会社エフ・プラン(弓之町パーキング)
副会長	田中 礼一郎	株式会社C V E C(中外駐車場)
理事	秦 弘司	株式会社まつもとコーポレーション(ザ・サードパーキング)
〃	小野 大輔	岡崎共同株式会社(やわらぎパーキング幸町)
監査	岩井 建次朗	株式会社セフティパーキング(天満屋駐車場)

□各地駐車協会総会報告□

高松市駐車場協同組合 第21回定期総会

- | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|----|-----|----|---|-----|--------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 日 時：令和7年5月30日(金)
午後3時30分より午後4時20分</p> <p>2. 場 所：高松番町 高松商工会議所会
議室</p> <p>3. 出席人員：議決票人員</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>本人出席</td><td>8名</td></tr> <tr><td>委任状</td><td>6名</td></tr> <tr><td>欠 席</td><td>3名</td></tr> <tr><td>計</td><td>17名</td></tr> <tr><td>会員 正会員</td><td>17名</td></tr> </table> <p>4. 議 事
議 案</p> <p>第1号議案 令和6年度事業報告(案)並び
に収支決算承認に関する件</p> | 本人出席 | 8名 | 委任状 | 6名 | 欠 席 | 3名 | 計 | 17名 | 会員 正会員 | 17名 | <p>第2号議案 令和7年度事業計画(案)並び
に収支予算(案)決定に関する
件</p> <p>第3号議案 令和7年度借入金残高限度額
決定の件</p> <p>第4号議案 役員改選の件</p> <p>5. 総会報告
事業報告
今年度新たに取り組んだ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車券の新規取り扱い先の増加 ・システムの効率化 <p>事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発 ・駐車場マップ作製 |
| 本人出席 | 8名 | | | | | | | | | | |
| 委任状 | 6名 | | | | | | | | | | |
| 欠 席 | 3名 | | | | | | | | | | |
| 計 | 17名 | | | | | | | | | | |
| 会員 正会員 | 17名 | | | | | | | | | | |

以上

高松市駐車場協同組合 役員名簿

令和7年5月30日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
理 事 長	辻 清 州	(株)グランド劇場
副理事長	寒 川 哲	(有)寒川総業
〃	池 田 靖 夫	(株)多津美荘
理 事	詫 間 敬 芳	(株)高松大映劇場
〃	高 子 輝	(有)平安閣
〃	石 淵 実 佳	(株)イシブチ
〃	嶋 弘 輝	古新町パーキング
監 事	鎌 野 征 輝	(株)スウイング
〃	新 名 誠 司	壽屋パーキング



駐車場コラム



■ 「道路の役割と駐車場 – アクセス機能がまちの安全と魅力を左右する」

名古屋大学環境学研究科 准教授 井料 美帆

駐車場は、目的地にアクセスする車にとって必要不可欠なものである一方、適切に配置・管理されていないと、安全やまちの快適性を損なう「厄介者」になり得る。幹線道路の沿道に多くの商業施設が立ち並んでいる場合、沿道の駐車場に出入りする車両が幹線道路の通行を妨げてしまう。生活道路から出入りさせれば、周辺住民にとって騒音や安全性の課題が起こる。商業集積地でも、歩行者と出入車両の交錯が安全上の懸念を生み、アクセス車両に起因する渋滞も発生しやすい。駐車場を使う車の側からしても、速度の高い幹線道路から直接駐車場へ出入りしたり、歩行者の多い道路で出入する際には、周りに一層の注意を払う必要がある。

本稿では、道路の役割分担の中での駐車場や沿道出入交通の位置づけについて触れてみたい。

< 道路の階層性とアクセスの課題 >

道路の役割として、リンク&プレイスという言葉がよく使われるようになった。リンクは、人々が移動するための機能、プレイスはそこに滞在する空間としての機能である。特に最近ではプレイスとしての機能の重要性が注目を集めており、まちなかでは、人優先の空間としての道路空間再整備が各地で行われつつある。リンク機能は、単に自動車が早く目的地に移動する(通行機能)だけではなく、歩行者や自転車にとっての通行機能や、自動車が駐車場などの沿道施設へ出入するためのアクセス機能も含まれる。

この通行機能、アクセス機能とプレイス機能の3つは競合するもので、全てを同じ道路で実現することはできない。道路には階層的な役割分担がなされており、自動車の通行機能を優先する幹線道路、歩行者が安全に移動したり、自動車が住宅に出入りするアクセス機能には生活道路といった使い分けが行われる。

現在の日本の道路も、種級区分(地方/都市の別や計画交通量で定められる道路の種類)に応じて段階的に設計速度や標準断面を決めることで、見かけ上は階層的な道路計画となっているが、実態が伴っていない。特に、アクセス機能とプレイス機能、アクセス機能と通行機能の混在による課題が著しい。アクセス・プレイス機能の競合は、プレイス機能が重視されるべき商業地の中心部に駐車場があることで、歩行者との錯綜が生じる場面である。これは各施設に設けられた附置義務駐車場によるところが大きいですが、小規模の民間駐車場の存在も無視できないであろう。

アクセス・通行機能の競合について、今の幹線道路の計画では、通過交通量に応じた車線数の確保などの通行機能に重点が置かれ、沿道へのアクセス機能についてはほぼ考慮されていない

かった。結果として、沿道施設からの出入口が乱立し、本来速く通行したい自動車を使うはずの道路が、渋滞やアクセスで速度低下してしまっている。幹線道路の速度が下がると、割を食うのは生活道路である。生活道路の方が早く目的地にたどり着けるので、通過交通が生活道路に流入し、安全が脅かされることにつながる。

< 道路の性能目標に応じたアクセスマネジメント >

海外のアクセスマネジメントの考え方は参考になる。例えば米国では道路を機能別の階層に位置づけ、それぞれに通行とアクセスの目標を設定する。幹線はできるだけ通行を優先し、沿道施設への出入口数を制限することを推奨している。幹線道路からはアクセス道路を介して個別の施設に出入りするようになってきている。そのため、幹線道路で高速で走行する車両と沿道アクセスの車両が混在することもなく、安全性・円滑性が向上する。ところが日本では、道路計画画は通行機能、アクセス機能のどちらにも性能の目標値は設定されず、このようなコントロールを行うことはできないのが現状である。今年、約40年ぶりに改訂された専門書「道路の交通容量」では、通行機能の性能目標に応じた計画について初めて言及されており、検討の加速が望まれる。

< 駐車場の供給量と集約化の検討 >

米国と違って土地の少ない日本では、アクセス道路のスペース確保も容易ではない。そこで、駐車場の集約化や供給量の再検討と併せて議論することが必要となる。

附置義務駐車場の集約化は、土地利用の効率化と交通負荷の低減に資する。よくある懸念は「目的地近くに駐車できなくなって来訪者が減るのでは？」というものだが、幹線道路からのアクセス道路に集約駐車場を隣接させ、周辺道路をプレイス機能へと転換(歩行者利便性や回遊性の向上)できれば、必ずしも来訪者数が減るとは限らない。むしろ、回遊・滞在を促す魅力的な空間が整備されれば来訪者の満足度は向上し、結果的に来訪者数を維持・増加させ得る。さらに集約により時間帯ごとの需要変動を吸収しやすくなり、空きスペースの有効活用や「うろつき交通」の抑制も期待できる。駐車場の供給量については、本誌250号の中村文彦教授のコラムにもある通りで、附置義務の最小台数を定めるだけでなく、戦略的に需要をコントロールすることも考えていく必要がある。

< 道路と駐車場の包括的な検討を目指して >

これらの駐車施策やアクセスマネジメントは、単一の区画のみで完結はできない。沿道開発、道路ネットワーク、駐車需要の時間的特性を踏まえ、エリアマネジメントとして調整・実施することが重要である。駐車場政策のみならず、それぞれの道路に求める機能を整理し、行政と民間とが連携して、アクセスマネジメントや駐車場の集約・柔軟運用を進めることが求められる。

駐車場は単なる自動車の保管場所ではなく、まちのトリップの起終点を決め、道路の機能分

担や歩行環境にも影響を与える重要な要素である。関係者の積極的な参加と実行が、より安全で回遊性の高いまちをつくる第一歩となる。

参考文献

- 1) Access Management Manual 2nd edition, Transportation Research Board, 2014.
- 2) Access Management Toolkit, NCHRP 1032, Transportation Research Board
https://onlinepubs.trb.org/onlinepubs/nchrp/nchrp_rpt_1032Toolkit.pdf
- 3) (公財)日本道路協会、道路の交通容量(令和7年改訂版)

情報発信「アンテナ」(第25回)

「ちょっとミライの駐車場について その2」

三菱地所パークス株式会社

執行役員 コンサルティング営業部長 増田 高明

機関誌250号の「PARKING」において、日常の駐車場運営のなかで気になること、今後の駐車場においてあった方がいいと思うことについて、「ちょっとミライの駐車場について」と題して、4項目(キャッシュレス・チケットレス・駐車場の自動運転車対応・駐車場利用者層の変化、及び、駐車場サービスの内容がお買物に与える影響)についての解決策・アイデア等を報告しましたが、今回は、その第2弾として、駐車場の事故/渋滞対策・駐車場のリニューアル・機械式駐車場・オペレーターの人手不足対策について、ご報告いたします。

①駐車場の事故/渋滞対策について

○駐車場の事故について

当社は現在、全国で約1,000カ所 約60,000台の駐車場を運営しておりますが、2024年度の事故を取り纏めると以下のようになります。



2024年度 事故発生件数

■当社起因による事故(26件)	
・料金・精算に関すること	18件
・誘導に関すること ※1	8件
■利用者起因による事故(188件)	
・ゲート・精算機周り接触・破損事故	169件
・ゲート以外での接触事故 ※2	19件
■機械故障・その他(73件)	
・機械式駐車場停止 ※3	32件
・事前精算機・フラップ等のトラブル	28件
・明確に起因者が分類できないもの ※4	13件
合計	287件

- ※1 接客態度・アンテナ破損/ホイールこすり・バレーパーキング等へのクレーム
- ※2 壁・柱・車止め・シャッター・スロープ・管制版・泡消火・機械式駐車場内での事故
- ※3 オイル漏れ・鍵・スマホを落とす等も含む
- ※4 滞納等大雨・大雪・落雷時のトラブル

利用者起因による事故が全体の65.5%(188件/287件)。そのうち、ゲート・精算機回り接触・破損事故は約90%(169件/188件)。ほぼ2日に1回発生しており、利用者、関係者、機器メーカー等々とのやり取りを考えると、ゲート付近での事故対応を、毎日何かしら実施していま

す。

○ゲート付近事故への対策

ゲート付近の事故については、たびたび発生する駐車場とほとんど発生しない駐車場があります。ゲート付近に曲がり角や分岐があり利用者にハンドル操作をさせる駐車場では、サイン等の対策を行っても事故が発生し、直進でスムーズにゲート付近に寄り付き・通過できる駐車場では、まったくと言っていいほど事故は起きません。

ゲート等の設置位置に関しては、設計上の制約もありますが、ゲート自体は目立つ色。最近、目にする「エアバー」等、太く・折れにくい素材のゲートの設置が必要になると思います。

○渋滞の原因について

大型施設等の駐車場渋滞は、主に以下のような原因で発生します。

入庫待ちの渋滞の原因

- ・ 駐車可能台数が少ない

車での来場者数に対して駐車可能台数が少なく、入庫待ちの車が増えます。

- ・ 入場ゲートに入りにくい

ゲートの直前にカーブがあるなど、発券機に車を寄せにくい構造の場合、入場に時間がかかり、渋滞が発生しやすくなります。

- ・ どこが空車なのか分かりづらい

駐車可能な場所が分かりにくいと、空きを探す車が増え、渋滞につながります。

- ・ 駐車場内の導線が分かりにくい

カーブが多い場合や分岐が多い場合など、導線が分かりにくいと渋滞が発生しやすくなります。

- ・ 車庫入れに時間がかかる

駐車スペースや車路が狭い場合、車庫入れに時間がかかり、渋滞につながります。

出庫待ちの渋滞の原因

- ・ 各階からの合流で時間がかかる

多層階の駐車場では、上層階から下りてくる車と途中の階から入る車との合流によって渋滞が発生するケースが多くなります。

- ・ 出口までの誘導が分かりにくい

出口や帰る方面を誘導する場内のサインが分かりにくいことで渋滞が発生するケースもあります。

- ・ 出口周辺に信号がある

駐車場を出てすぐの場所に信号がある場合も渋滞が発生しやすくなります。

○駐車場の渋滞対策

大型施設等の駐車場の渋滞対策は、以下の通りとなります。

■全体的な流れを再検討する

運営中での個々のトラブル等に対応した個別のサインや施策等が積み重なり、結果、注意喚起ばかりで分かりづらくなり、渋滞を誘発させてしまうケースが散見されます。入庫・施設

との行き来・出庫の一連の流れを再確認し、ボトルネック・優先順位等を明確にしながら、サーキュレーション・サイン等の全体的な見直しをすることで、スムーズになるケースが多いです。

■エリア名を工夫する

人は、若い数字や文字を好む傾向があるため、施設に近い駐車場から第1駐車場、施設から離れるごとに第2、第3駐車場とすると第1駐車場から混雑していきます。そのため、空きが多い、もしくは、奥のエリアから第1、2、3…とナンバリングする。また、果物やキャラクターなど、順番と関係のないネーミングをすると混雑が解消されるケースもあります。

■事前精算機渋滞対策

事前精算は出口渋滞対策に効果がありますが、エレベーターホールに1台の精算機であると、休日等は精算待ちのひとの列が長くなり、精算に10分程度かかることもあります。スマホ精算の導入、簡易精算機の増設等、精算場所の分散をすることで、事前精算機の渋滞を抑制できます。

■ピーク分散

収容台数を大幅に超える来場は対策のしようがないため、混雑・渋滞情報をホームページ、SNS、施設内のサイネージ等で共有する、また、ピーク時以外の入出庫については、クーポン発行・駐車場の割引を長くするなど、ピーク時の来場を分散させる施策が有効です。

②駐車場のリニューアルについて

駐車場のリニューアルは、そのリニューアルが稼働率・収入UPに直結するかどうかの効果が見えにくいいため、後回しにされがちです。しかし、駐車場が古くなり利便性が低くなると、渋滞や施設へのマイナスイメージを発生させ、結果、売上などにも影響する恐れがあります。



○リニューアルのタイミング

駐車場のリニューアルを検討すべき時期は対象によりさまざまです。例えば、ゲートなどの機械は10年を目安に交換が必要です。また、機械式駐車場の場合は15年を超えたあたりから部品交換などが必要になります。駐車場内外のサインなども20~30年程度で老朽化してくるため、リニューアルが必要になるでしょう。

○リニューアル施策・ポイント

・駐車場内サーキュレーションの改善

駐車場内サーキュレーションがはっきりしない場合、入出庫・駐車場所探しに迷い、場内のウロウロ・渋滞を招く恐れがあります。「シンプル」・「大きめ」・「明るい」サイン等を検討し、場内進行方向などを明確にすることで駐車場内の流れが改善します。

・運転が苦手な方のサポート

車の大型化・ハイルーフ化により、古い駐車場の車路・車室は狭くなっていることが多いで

す。車室の大型化のリニューアルは、運転が苦手な方の駐車ストレスを軽減させる効果があります。更に、車室に加え、車路も大きくした思いやりスペース・フロアを設置することで、ミニバンの後ろドアの開閉、ベビーカーの積み下ろしなどが容易になり、顧客満足度が向上します。また、切り返しのないスムーズな駐車・荷物等の積み下ろしにより、場内渋滞緩和にもつながります。

・歩行者の的確な誘導・安全確保

駐車してから施設への案内サイン・路面ペイント、施設から自身の車に戻るフロアマップ・サインの改善、同乗者の乗降スペースを設置することで、駐車場内の人のウロウロが抑制できるため、場内渋滞の緩和、人身事故の抑制も可能となります。

・キャッシュレスシステムの導入

当社が管理する駐車場では、キャッシュレス決済の割合が90%を超えている駐車場があり、また、キャッシュレス非対応の駐車場では、現金の持ち合わせのない利用者に、後日お振込み頂くとする事例も発生しています。現状で求められている駐車場のリニューアルは、キャッシュレス化かも知れません。

・運営のリニューアル

リニューアルのタイミングで、空き車室のお得な料金設定等、運営のリニューアル・サービス拡充をする事例も多いです。現在は、リニューアルの項目に駐車場のDXを検討し、スマホでの車室予約やスマホでのパスカード販売により、ダイナミックプライシングを行っている駐車場も出現しています。

・EV充電器の設置

電気自動車の普及に伴い、駐車中に充電ができるEV充電器を設置するリニューアルも増えています。これによりEV所有者の施設利用促進につながります。

③機械式駐車場について

機械式駐車場は、狭い土地を有効活用できるといった魅力があるものの、平置き駐車場と異なる課題があるのも事実です。ライフスタイルの変化により、機械式駐車場が抱える課題も複雑化しています。

機械式駐車場が抱える課題

機械式駐車場には主に次のような課題があります。

・維持費用が高い

機械式駐車場は定期的な点検が欠かせず、部品交換や修理などのコストがかかります。また、メンテナンス要員の人件費も高騰しており、今後も維持費用のオーナー負担が大きくなっていくと予想できます。

・入庫できる車が限定される

機械式駐車場では、駐車できる車両の高さや幅、重量などに制限があり、利用できる車種が



限られるケースがあります。これまでの車高の高い車に加え、重量の重い電気自動車の増加により、現状の機械式駐車場に入庫できない車がさらに増えるおそれがあります。

- ・車の出し入れに時間がかかる

機械式駐車場では、車の出し入れの際にパレット等が移動する時間だけでなく、人の乗り降り、荷物の積み下ろしにも時間を要するため、駐車場利用者が多い時間帯には、長時間の順番待ちが発生してしまうケースがあります。

機械式駐車場の活用策

利便性と収益性を兼ね備えた、魅力的な機械式駐車場を維持するためのリニューアルのポイントを4つ紹介します。

- ・パレットの間隔を見直す

入庫できる車種が限定されてしまうと、利用者数の減少にもつながります。リニューアル時にはハイルフ車に対応できるよう、パレットの間隔を見直す必要があるかもしれません。費用はかかりますが、入庫できる車種が増えれば利用者が増え、収益を高められる可能性もあるでしょう。

- ・車の乗降や荷下ろし専用スペースを設ける

機械式駐車場付近に車の乗り降りや荷物の積み下ろし用スペースを別に設けると、機械式駐車場は車の出し入れだけになるため、スムーズな入出庫を実現でき、入出庫待ちの渋滞の解消が期待できます。

- ・待合スペースを充実させる

機械式駐車場では、どうしても待ち時間が発生します。待合スペースにソファやグリーンを配置し、リラックスできる空間にすると待ち時間のストレスを軽減できます。また、広告を設置すると広告収入を得られる可能性もあります。

- ・新システムとの連携

これまで、機械式駐車場の「操作説明」と「実車による格納確認」は、係員が現地に向かい対面で行われています。ホテルのフロントなどで導入されている「遠隔接客システム」による業務効率化、また、スマホ精算の導入による無人での時間貸しの決済策を検討するなど、新システムを利用した機械式駐車場の新たな活用方法を検討し、収益改善を図る必要があります。

④ 駐車場係員(オペレーター)の人手不足対策について

昨今、人手不足が叫ばれており、駐車場業界においても同様です。しかも、駐車場の仕事は、基本、立ち仕事。暑い日も寒い日も雨の日も、出入口で誘導することもありますし、雪が降れば雪かきをすることもあります。そのため、きついイメージを連想させるのか、当社でも「人が足りない」「採用しても、長続きしない」という話をよく聞きます。

現場で考えたアクション

オペレーターがいないと駐車場の運営は成り立たない。そのため、現状のオペレーターには、

マンネリにならず気持ちよく働いてもらい、また、新たに仲間となった新人オペレーターには、たのしい仕事だと早期に感じてもらえる何かがないと離職は止まりません。それを見つけるため、当社で実施したアクションをご紹介します。

■ 駐車場内の整理・整頓

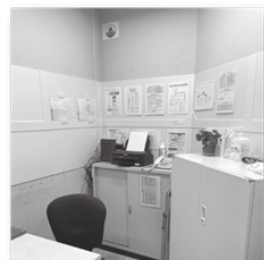
車路・車室が、かつては使われていたであろう置き看板・台車・セール用の備品の倉庫のように扱われていたため、それらの仕分けと廃棄を実施。

■ 管理室に色・観葉植物の取り入れ

壁に無造作に添付されている掲示物を、注意を惹くイエローのメッセージボードに張り替え、鍵の壊れた書棚を新調。その書棚に小さな観葉植物を配置するなど、管理室の改良を実施。



改善前



改善後

■ 古い備品の変更

何十年と使用しているカラーコーンの刷新。



改善前



改善後

アクションの効果

整理整頓・カラーの取り入れによる「きれいになった」という達成感。更に、周囲の「明るくなったね、きれいになったね!」という評価。カラーコーン刷新での月極の車室や駐車禁止位置への無断駐車減少など、これらのアクションによる効果が実感できました。

それによりモチベーションがアップし、休憩室・待合ロビーも整理整頓・カラー化を実施。すると、施設の修繕計画に大規模な駐車場のカラー化に予算が計上される。無断駐車減少により、以前クレームを言われた契約者からお褒めの言葉を頂くなど、更に効果を実感できました。

自らのアクションが、駐車場・職場を変え、プラスの効果を与える。きつい・マンネリと思っていた駐車場の仕事のなかで「やりがい」を感じられる。そのことが体現できた上記の駐車場は、現場の雰囲気がよくなり、離職者が減少しました。

オペレーターの離職対策

オペレーターの業務は、マンネリできついところがあることは否めませんが、今後は、そのような業務は、なるべく機械・システム等に置き換えることを検討し、利用者が一番近いとこ

ろで働くオペレーターの意見を取り入れ、「やりがい」を感じられる業務を考え、提供していくことが離職を留まらせ、現場の活性化につながるのかも知れません。

今回報告した事故／渋滞対策・リニューアル・機械式駐車場・人手不足対策は、現場ごとの個性が非常に高く、また、長きにわたって検討されている根深い課題も多く、簡単に解決とはいかないものばかりです。

しかしながら、個別・長期の課題だからこそ、新たな技術の検討に加え、最前線のオペレーターの要望等を活かし、試行錯誤しながら少しずつ、駐車場の改善・利用満足度を向上させていく取り組みを検討する。その取り組みを、駐車場で働くひとが主体的に実施し、評価され、やりがいを感じる。

そして、これを継続的に取り組むことが、駐車場が目指す「ちょっとミライ」であると思っています。

駐車場管理システムに先端技術を提供します。

株式会社 富士ダイナミクス

地域の再開発、土地空間の有効活用など駐車場は都市機能には欠かせないスペースとなっています。病院、ショッピングセンター、レジャー施設など、目的に合わせたシステムを提供します。

先端技術のご提供

■ Edy（電子マネー付）会員カードシステム

事前にチャージしているバリューから支払いが可能。現金でのやり取りがないため、安全且つスピーディーに精算できます。
ICカードに駐車場利用状況をポイントとして蓄積し、ポイントに応じた割引等のサービスにより、リピーターの獲得が可能となります。

■ DSRC連動・入退場システム

ETC車載器を搭載している車両は、自動ゲート開閉によるスムーズな入退場ができ、尚且つ決済の自動化によりキャッシュレスでの入退場が可能です。

駐車料金精算システム

■ 全自動出口精算システム

■ 車番認識システム

■ 認証システム

■ 出口有人精算システム

■ 機械式駐車装置連動システム

■ キャッシュレス精算システム

■ フラップ式精算システム

■ POS連動精算システム

■ 事前精算システム

■ 均一料金精算システム

入出庫管理システム

■ ICカードシステム

■ バスカードシステム

■ リサイクルカードシステム

■ チェーンゲートシステム

■ リモコンゲートシステム

駐車場管制システム

■ 車路管制システム

■ 駐車場満空管理システム

■ 各階台数計数システム

■ 車室在否管理システム

■ CCTV監視システム

三菱プレジジョン（株）代理店

株式会社 富士ダイナミクス

ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

●本社 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL 03 (3793) 5411

●名古屋営業所 名古屋市長穂区大新町1-2-6
ロイヤル牛巻第1 2階
TEL 052 (883) 0700

●丸の内サビセター 東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビル 4階 421
TEL 03 (3287) 0594

●湘南サビセター 鎌倉市山崎 662-2
TEL 0467 (45) 6867

●相模原出張所 相模原市中央区矢部1-3-14
大河南ビル201号室
TEL 042 (730) 6611

●営業本部 東京都目黒区東山1-4-4
目黒東山ビル4階
TEL 03 (3793) 7411

●大阪営業所 大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL 06 (6325) 2761

●横浜サビセター 横浜西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー29階
TEL 045 (224) 2256

●羽田サビセター 東京都大田区羽田空港 3-3-2
東京国際空港旅客ターミナルビル
三菱プレジジョン株式会社 内
TEL 03 (5756) 7245

●仙台営業所 仙台市太白区富沢1-11-21
TEL 022 (244) 5461

●福岡営業所 福岡市博多区中呉服町3-10
勝冶呉服町ビル
TEL 092 (282) 3491

●湘南事業所 鎌倉市山崎662-2
TEL 0467 (45) 6867

●さいたま出張所 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パークセンター内4F
TEL 048 (764) 9290

AMANO



「交通系ICカード」 だけで、入出場も決済も！

チケットレス駐輪場システム

駐車券・定期券の代わりに交通系ICカードを活用した
“チケットレス・キャッシュレス”のゲート式システム。

「チケットレス駐輪場システム」動画を見る



個別ロック式システム



駐輪場クラウドサービス



ゲート式システム

駐輪場のことならアmanoにおまかせ！

調査・分析 | 開発設計 | システム構築 | 設置・工事 | 保守メンテナンス | 管理受託 | 経営受託

 **アmano株式会社**

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
(045) 439-1516
<https://www.amano.co.jp/Parking/>

これからの都市パーキングに、 三菱プレジジョン。



ロック板システム

小スペースでの駐車場運営に最適なシステムです。
規模に合わせたシステムをご用意します。



DSRC システム

駐車場出入口上に専用のアンテナを設置し、登録済みのDSRC車載器搭載車両がくると自動でゲートが開きます。



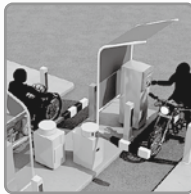
車番認識システム

駐車場出入口に設置したカメラでナンバープレート内の情報を記録。情報は文字データとしてPC管理できます。



駐輪システム

自転車・バイク両方の駐輪システムをラインナップ。
車両をロックやチェーンで個別に管理して1台の精算機で集中管理するシステムと、出入口をゲートで管理する2種類のシステムをご用意。
駐輪場の規模や立地環境に合わせたシステム構成をご提案します。



*駐車場の運営管理についても私たちに相談ください。

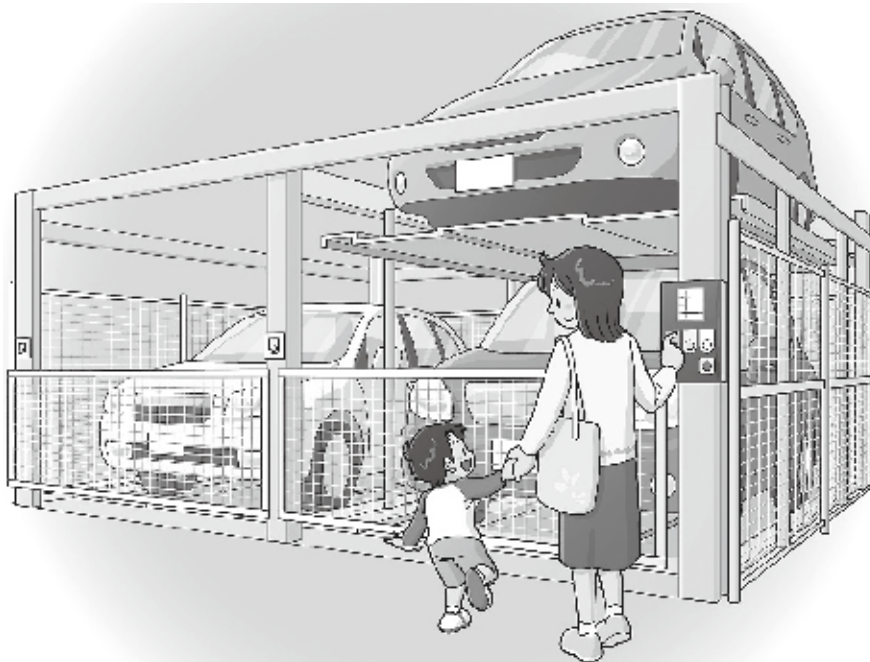
創造と信頼で未来をひらく
三菱プレジジョン株式会社

本社・営業本部
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川8階
<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先
駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732

中部支社	052-961-3557	静岡営業所	054-204-4505
関西支社	06-6484-7206	中四国営業所	082-546-2176
北海道営業所	011-213-7826	九州営業所	092-273-0880
東北営業所	022-216-4615		

**公益社団法人 立体駐車場工業会は、平成27年1月から
施行されました新大臣認定制度の登録認証機関です。**



公益社団法人 立体駐車場工業会とは—

平成27年1月1日施行の駐車場法施行規則の認証機関として登録されました。

大臣認定制度に規定された「安全機能に関する基準」をクリアする当工業会が定めた「機械式駐車装置の安全機能に関する認証基準」に基づき、審査・認証を厳格に実施してまいります。

その他、従来審査・認定をしていた車いす使用者対応等の認定も行います。

「安全で便利で信頼性の高い駐車場の提供」これが当工業会の願いです。

人にやさしい機械式立体駐車場の普及に努めています。



公益社団法人 **立体駐車場工業会**

Japan Parking System Manufacturers Association Incorporated

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目9番9号 SHビル6階

TEL. (03) 5542-0733 FAX. (03) 5542-0735

ホームページ <https://www.ritchu.or.jp/>

あらゆる駐車場に対応した総合メンテナンス会社

日本全国 24時間365日 大小問わず 合理的な料金でOK!!

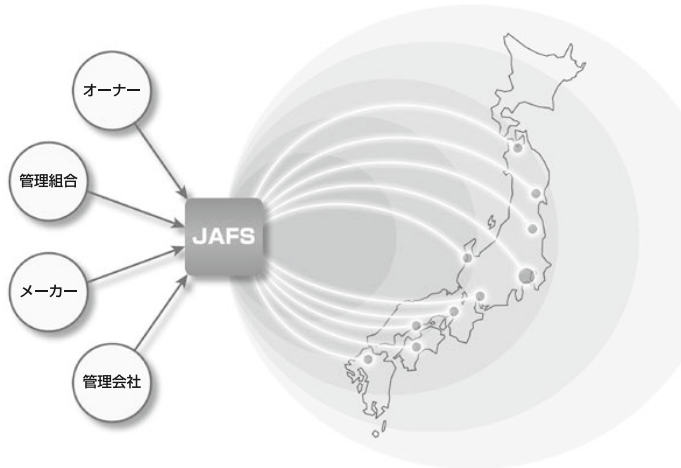
日本駐車場救急サービス株式会社

■会社概要

当社は、平成5年12月、駐車場関係諸官庁、団体、メーカー等のご要請により、業界の健全な発展のため、自動車業界のJAFを模して、駐車装置の保守サービス専門会社として設立されました。当社は日本全域24時間体制のもと、合理的な料金で対応できるネットワークで構築されております。
業務の内容は、定期メンテナンス（点検、調整、給油）24H故障対応、補修工事などを行います。

JAFSのアフターサービスシステムは、単なるメンテナンス工事の下請けではありません。アフターサービス、メンテナンスのデータを収集・分析して、的確にフィードバックし、機器の改善、開発、更にはリブレースにも貢献します。貴社のアフターサービス活動そのものをお引き受けするアウトソーシングシステムです。

社名	日本駐車場救急サービス株式会社
代表者	代表取締役 森井 清
設立	1993年(平成5年)12月
資本金	2,000万円
社員数	40名
事業内容	1.駐車場、駐輪場設備の保守管理及び緊急出動 2.駐車場、駐輪場の遠隔監視及び警備 3.駐車場、駐輪場の建設及び修繕工事 4.駐車場、駐輪場の運営管理
機械器具設置事業	東京都知事許可 第104599号
警備業認定	東京都公安委員会 第2380号
支店	大阪 大宮 金沢 福岡 名古屋



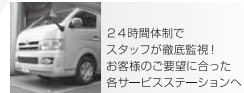
定期メンテナンス



補修工事



緊急出動



全国実績及びサービスステーションネットワーク (2011.1.1 現在)

全国実績

東北地区	10件	250 バレット
関東地区	2,300件	58,000 バレット
中部地区	200件	6,000 バレット
関西地区	300件	10,000 バレット

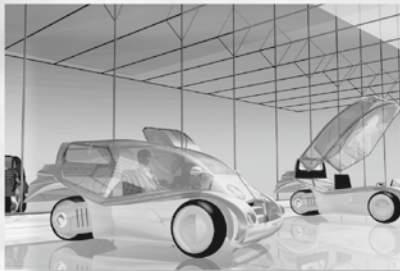
中国・四国地区	150件	3,500 バレット
九州地区	100件	2,500 バレット

合計 約**3,060**件 約**80,250**バレット

一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 **日本駐車場救急サービス株式会社**

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 TEL.03-3663-1755 FAX.03-3663-1750 URL.https://www.jafs99.co.jp/



日本信号は、「安全と信頼」のテクノロジーをもとに、
より快適な交通社会の実現を

これからも目指し続けます。



日本信号株式会社
NIPPON SIGNAL

www.signal.co.jp/

- AFC事業部 AFC営業部
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377
- 大阪支社 交通システム営業部
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597
- 北海道支店 ■東北支店 ■中部支店 ■九州支店

機関誌『PARKING』への広告掲載のご案内

- ・発行部数 1,300部(年4回、4月・7月・10月・1月)
- ・規格 B5判
- ・頁数 50～120頁位
- ・内容 駐車施策等に関する各種記事、各地駐車協会活動報告、各種事例報告、調査・統計資料、総会報告、理事会議事録、研修レポート、事務連絡等
- ・配布先 当協会会員(各地駐車協会会員、個人及び賛助会員)、国土交通省、総務省、厚生労働省、警察庁、国立国会図書館、政令指定都市担当部、都道府県警察本部、東京都、警視庁、警察署(東京都内)、東京消防庁、全国知事会、全国市長会、関係団体等
- ・広告掲載料金

掲載箇所	ページ数	1回あたりの料金		備考
		会員	非会員	
① 表紙裏	1	52,360	77,000	
② 裏表紙裏	1	36,630	55,000	
③ 裏表紙	1	52,360	77,000	
④ 色紙(前・中・後付)	1	28,270	44,000	
⑤ 記事中	1	17,710	24,200	
暑中見舞・謹賀新年	1枠	5,170	7,700	名刺広告

[備考]

1. 上記は連続掲載の料金とし、1回限りの掲載料金は1割増といたします。
2. 完全版下以外は、広告デザイン・版下製作の実費をいただきます。
3. 消費税増税分を反映した内税表示としています。

◆ PARKING NOW ◆

■ 「平和島自動運転協議会」の意義と今後の展望について

株式会社東京流通センター 運営管理部 係長 糸数 大地

1. はじめに

2025年5月22日、東京都大田区平和島において「平和島自動運転協議会(以下、本協議会)」が発足した。本協議会では、東京流通センター構内における自動運転技術に関する実証実験を通じ、自動運転車両の開発企業が協調領域において連携することでオープン・イノベーションの推進を図っている。これにより、自動運転業界全体の技術発展を促進するとともに、日本の物流業界が抱える人手不足や輸送効率の低下といった社会課題の解決を目指している。事務局を株式会社日本経済研究所、施設の運営管理を株式会社東京流通センター(以下、TRC)が担っており、2025年9月30日時点で運転技術の開発企業7社に加え、商社、保険、シンクタンク、3Dマップ作製・車両製造など多様な分野から計26の企業が参画している。

近年、物流業界では「2024年問題(働き方改革関連法による時間外労働の上限規制)」や「2030年問題(深刻な人手不足による物流機能の低下)」といった労働力不足や輸送能力の低下に起因する社会課題が顕在化しており、政府・自治体・民間事業者が連携して抜本的な対策を講じる必要性が高まっている。こうした状況の中、自動運転技術は中長期的な解決策として期待されており、実証フィールドの整備や制度的支援が求められている。

本稿は、実証実験フィールドの運営管理を担う民間企業の立場から、本協議会の意義および今後の展望について考察を加えた寄稿文である。



図1 「平和島自動運転協議会」拠点/東京流通センター外観

2. 物流環境を取り巻く社会的背景と自動運転技術の開発状況

2-1. 物流業界を取り巻く社会的課題

近年、日本の物流業界は、構造的かつ複合的な課題に直面している。特に、2024年4月に施行された働き方改革関連法により、トラックドライバーの時間外労働に上限が設けられたことで、輸送能力の低下が懸念される「物流2024年問題」が顕在化した。これに加え、少子高齢化の進行による労働力人口の減少は、物流業界における人手不足を一層深刻化させており、2030年以降には「モノが運べない社会」が現実のものとなる可能性が指摘されている。

こうした状況に対し、政府は「物流革新に向けた政策パッケージ」や「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」等を通じて、制度的・技術的な対応策を模索しているが、抜本的な解決には至っていない。物流は、国民生活や産業活動の基盤を支える社会インフラであり、その持続可能性を確保することは、国家的課題と位置付けられている。

また、環境負荷の低減やカーボンニュートラルの実現に向けて、物流の効率化は不可欠であり、輸送手段の転換や拠点の再編、デジタル技術の導入等が求められている。こうした背景のもと、物流業界における技術革新の一環として、自動運転技術の社会実装が注目されている。

不足する輸送能力(全体)

	不足する輸送能力の割合	不足する営業用トラックの輸送トン数
2024年度	14.2%	4.0億トン
2030年度	34.1%	9.4億トン

出典：経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課「持続可能な物流の実現に向けた検討会 中間とりまとめ」(2023年8月)p.4より引用

2-2. 自動運転技術の開発動向と社会実装の課題

自動運転技術は、近年急速に進展しており、国内外の企業・研究機関による開発競争が激化している。特に、AI技術の進化により、従来のセンサーや高精度地図に依存する「ルールベース方式」から、カメラ画像を直接解析して運転操作を行う「End-to-End方式」など、新たな技術開発が進められている。

この技術は、人間の運転行動を模倣する形で、より柔軟かつ汎用的な自動運転を実現する可能性を秘めており、都市部における複雑な交通環境への対応力が高いとされている。一方で、社会実装に向けては、技術的な成熟度のみならず、法制度、インフラ整備、社会受容性、安全性、経済性といった多面的な要素をクリアする必要がある。

特に、実証実験の場の確保は、自動運転技術の開発において不可欠である。現実の都心交通環境における走行データの収集と運用実績の蓄積・研究は、AIの学習精度を高める上で重要であり、都市型自動運転の実現には、都心部に近接した実証フィールドが求められる。

また、車種や運用形態によって技術要件が異なるため、乗用車・商用車・トラック・バス等、幅広い車両に対応した開発環境が必要である。加えて、技術方式の違い(End-to-End方式、ル

ールベース方式等)に応じた柔軟な実証体制の構築が求められる。

こうした状況を踏まえ、平和島自動運転協議会では、都心至近かつ約15万㎡の敷地を有する物流拠点であるTRCを活用し、企業・自治体・研究機関が連携して、技術開発と社会実装の両面から自動運転の普及を促進することを目的としている。

3. 平和島の地理的・制度的ポテンシャル

TRCが所在する平和島は、1960年代の高度経済成長期において、都心部の交通渋滞や物流の非効率性が深刻化する中、これらの課題に対応するために整備された流通拠点である。特に、都市部における物流機能の分散と効率化を目的として、「流通業務市街地の整備に関する法律」に基づき、南部流通業務団地として指定されたことで、住宅や病院などの建築が制限され、歩行者との交錯が少ない、安全性の高い業務専用エリアとしての性格を有している。

地理的には、平和島は首都高速羽田線・湾岸線・環状七号線に囲まれ、大井埠頭や羽田空港にも近接しており、陸・海・空の物流を網羅するインターモーダル拠点としての機能を備えている。さらにTRCは東京モノレール「流通センター駅」から徒歩1分に位置しており、公共交通機関によるアクセスにも優れていることから、実証実験に関わる関係者の移動利便性やラボ機能の運用効率にも寄与している。

このような交通アクセスの優位性により、都市間・都市内の輸送ハブとして高いプレゼンスを持ち、政府が自動運転技術に求める「社会受容性」「安全性」「経済性」の三要素を満たす地域となっており、実証フィールドとして理想的な環境である。

さらに、技術開発企業の視点からは、End-to-End方式のAI学習において交通環境の多様性が重要とされており、平和島のような都市型交通環境は、学習精度の向上に寄与する有効なフィールドであると評価されている。

4. 協議会が目指す将来像

平和島自動運転協議会が目指す将来像は、単なる技術実証の枠を超え、幹線輸送およびラストマイル輸送の両面における自動運転車両の社会実装を通じて、物流業界が抱える構造的課題を解決することである。

前提として、TRCをはじめとする平和島エリアにおける自動運転トラックの実走行を実現することを目標としている。前述の通り、平和島は首都圏の消費地に近接し、かつ高速道路網との接続性に優れた地理的条件を有しており、自動運転技術に関する実証フィールドとして極めて高いポテンシャルを有している。

また、TRCは2025年4月に大阪府下の流通業務地区にて北大阪トラックターミナル、東大阪トラックターミナルを有する南海電鉄との次世代モビリティ運行等に関する連携を発表しており、これにより東京～大阪間の幹線輸送における自動運転トラックの活用が現実味を帯びてきている。両都市は日本経済の中枢を担う大消費地であり、これらを結ぶ物流動脈において自動運転技術を導入することは、輸送効率の向上、環境負荷の低減、ドライバー不足の緩和といっ

た社会的課題の解決にも直結する。

加えて、平和島および大阪の流通業務地区は、最終消費地に近接する好立地であることから、ラストワンマイル輸送における自動運転トラックの活用拠点としても期待されている。幹線輸送とラストマイル輸送の両面において自動運転技術を導入することで、物流の全体最適化を図るとともに、持続可能な都市物流モデルの構築を目指している。

技術面においては、都市型自動運転の社会実装を加速させるとともに、将来的には物流で利用される商用車領域への展開・普及も目的の一つとしている。特に、AIを活用したEnd-to-End方式による自動運転技術は、都市部の複雑な交通環境への対応力が高く、今後の技術革新の中心となることが期待されている。協議会では、こうした技術の実証・評価を通じて、都市型モビリティの新たな形を構築していく方針が示されている。

また、自治体や政府との連携も重要な要素である。自動運転技術の社会実装には、法制度の整備、インフラの改良、社会受容性の醸成など、多岐にわたる課題が存在する。協議会では、これらの課題に対して関係機関と連携しながら、段階的かつ実効性のある対応を進めていく。

このように、平和島自動運転協議会は、物流の未来を見据えた社会実装のモデルケースとして、平和島から全国へと自動運転技術と物流オペレーションの新たなスタンダードを発信し、技術革新と社会課題の解決の両立を目指している。



図2 2025年4月30日付リリース／南海電鉄と東京流通センターが業務提携契約を締結

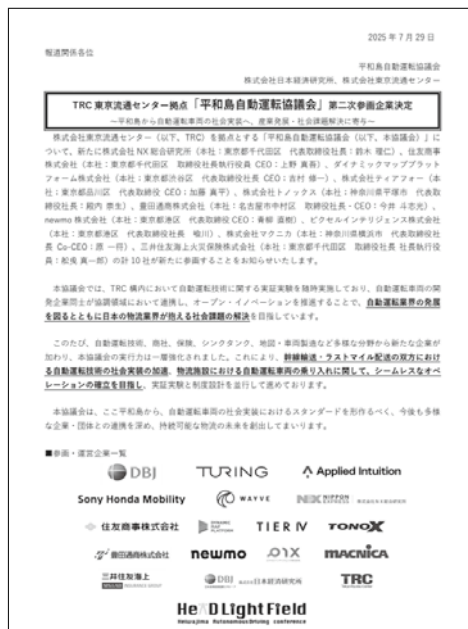


図3 2025年7月29日付リリース／TRC東京流通センター拠点「平和島自動運転協議会」第二次参画企業決定

「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

事務局では皆様から「PARKING NOW」に掲載する情報の提供を募集しています。

以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等会員に参考になる情報
 - ・駐車場に関連する各種トピックス
 - ・駐車場を取り巻く自治体の動き
- など

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会 ☎ 03-3528-8305

e-mail : info@japan-pa.com

PARKING IN TOKYO

一般社団法人東京駐車協会

■ 令和7年度第3回定例理事会報告

「第3回定例理事会」

開催日：令和7年9月9日(火)12時～12時32分

場 所：日本工業倶楽部会館3階中ホール

議 題：報告事項

1. 会員異動について
2. 各種活動報告及び今後の予定について
3. 駐車場案内標識業務関係について
4. (一社)全日本駐車協会関係事項について
5. その他

■ 令和7年度第4回定例理事会のご案内

「第4回定例理事会」

開催日：令和7年11月27日(木)16時～(予定)

場 所：日本工業倶楽部会館4階第4会議室(予定)

懇親会：同会館3階中ホール(予定)

■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました。

「標識管理委員会」

開催日：令和7年8月6日(水)

方 法：書面開催

議 題：令和6年度取組実績

令和7年度取組状況

全体傾向

令和7年度道路占用料

今年度の重点事項

以上

— 事務局だより —

■ 令和7年度第3回理事会のご案内

- 日 時 令和8年1月23日(金)15時30分～17時(予定)
- 場 所 日本工業倶楽部会館5階第6会議室(予定)

■ 令和8年新年賀詞交歓会のご案内

- 日 時 令和8年1月23日(金)17時～18時30分(予定)
- 場 所 日本工業倶楽部会館3階大ホール(予定)
- その他 東京駐車協会との共催

■ 令和8年新春駐車場研修会のご案内

- 日 時 令和8年2月6日(金)13時30分～15時30分(予定)
- 場 所 オンライン研修
- 参加費 無料
- その他 東京駐車協会との共催

■ 令和8年春季駐車場研修会のご案内

- 日 時 令和8年3月6日(金)(予定)
- 場 所 未定
- 参加費 未定
- その他 東京駐車協会との共催

■ 新会員のご紹介

株式会社アズーム

■所在地：東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー19F(本社)

■代表者：菅田 洋司

■事業紹介：

株式会社アズームは「世界から『もったいない』をなくそう」をミッションに掲げ、「不動産×IT」を原点に遊休不動産の課題解決から事業をスタートしました。現在では不動産にとどまらず、社会に存在する多様な遊休資産を対象に、個別の状況を丁寧に把握し、ITノウハウを活かした最適な活用ソリューションを提供しています。

アズームの原点であり、今も主力事業として大切にしているのが月極駐車場事業です。空き区画の収益化や管理業務の効率化に取り組み、月極駐車場を利用されるお客様、遊休不動産を駐車場として貸し出されるオーナー様、管理会社様など、多様な関係者に向けてサービスを展開しています。直近では、AIを活用するプロジェクトも立ち上げ、遊休資産活用の幅を広げています。

■月極駐車場事業

アズームは、月極駐車場検索サイト「CarParking(カーパーキング)」を中核に、駐車場サブリース、クラウド型管理システム「CarParking One」、法人向けサービス「Tomemiru(トメミル)」など、多様なサービスを展開しています。「CarParking」は、全国11万件を超える物件情報を掲載する月極駐車場検索サイトです。詳細な条件検索に対応しているほか、専門スタッフが非公開物件を含めて提案する仕組みにより、多様なお客様のニーズにお応えしています。駐車場サブリースでは、オーナー様から空き車室を一括で借り上げ、首都圏や政令指定都市を中心に全国3万区画以上を管理し、安定的な収益化を支援しています。「CarParking One」は募集から契約・決済・解約までをオンラインで完結し、管理業務の効率化と集客力向上を実現しています。また、法人向けサービス「Tomemiru」は、社用車の駐車場手配・契約・管理を一元化し、総務や車両管理部門の業務負担を大幅に軽減しています。

■駐車場事業者の皆様へ

今後は、協会の一員として、会員の皆さまと積極的に情報交換・交流を図りながら、共に課題解決や新たな価値創出に取り組むことで、駐車場業界全体の持続的な発展に貢献してまいります。さらに、ノウハウとテクノロジーを活かした仕組みづくりを進め、駐車場が交通・都市・環境と調和した社会インフラとして機能するよう努めてまいります。

■会社紹介：<https://azoom.jp/>

【お問い合わせ】

■窓口：<https://azoom.jp/contact>

■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました。

「広報委員会」

開催日：令和7年10月1日(水)

場 所：全日本駐車協会会議室

議 題：PARKING第251号振り返りについて
PARKING第252号目次案について
PARKING第253号以降目次案について
ホームページリニューアルについて
(機関誌電子化等)
ホームページの運用状況について
会員宛てメールの発信状況について
その他

「企画委員会」

開催日：令和7年10月3日(金)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

議 題：令和7年秋季駐車場研修会について
事務局長会議後の見学会について
令和8年新春駐車場研修会について
令和8年春季駐車場研修会について
令和8年秋季駐車場研修会(海外)について
その他

■ 諸会議等報告

<国土交通省都市局>

・第1回全国駐車場需給調査検討会

令和7年7月28日(月) 国土交通省会議室

■ 会員動静

〔入会〕

(個人会員)

○会員名 溝部 都孝

住 所 福岡県福岡市(個人のため以下省

略)

入会日 令和7年9月30日

(地区会員)

○会員名 株式会社市原商会
(名古屋駐車協会)

代表者 市原 高明

所在地 愛知県名古屋市中村区名駅4-5-27
大一名駅ビル1F

入会日 令和7年8月1日

○会員名 株式会社スペース二十四
(名古屋駐車協会)

代表者 吉川 幸孝

所在地 愛知県名古屋市中村区日比津町
2-2-8

入会日 令和7年10月1日

(賛助会員②)

○会員名 ペアポイントアジアパシフィック
株式会社(東京駐車協会)

代表者 馬場 俊朗

所在地 東京都千代田区神田神保町2-11-
15 2F

入会日 令和7年8月31日

○会員名 三菱地所パークス株式会社
(仙台駐車協会)

代表者 吉田 恭彦

所在地 東京都港区青山1-1-1 新青山ビル
東館16階

入会日 令和7年10月1日

○会員名 株式会社シード(名古屋駐車協会)

代表者 吉川 幸孝

所在地 愛知県一宮市猿海道3-2-15

入会日 令和7年10月1日

○会員名 株式会社センス(名古屋駐車協会)

代表者 高見 祐介

所在地 愛知県名古屋市昭和区永金町1-6

入会日 令和7年10月1日

[退会]

(地区会員)

○会員名 株式会社柴崎商店(仙台駐車協会)

代表者 柴崎 勝彦

所在地 宮城県仙台市青葉区国分町2-2-5

退会日 令和7年6月30日

○会員名 鈴木 源樹(千葉駐車場協会)

住 所 千葉県千葉市(個人のため以下省略)

退会日 令和7年8月23日

(賛助会員②)

○会員名 株式会社電気ビル(福岡駐車協会)

代表者 豊馬 誠

所在地 福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-1

退会日 令和7年7月31日

以上

表紙題材募集のご案内

事務局では、機関誌「PARKING」に掲載する表紙題材の提供を募集しています。以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等

・駐車場に関連する新築ビル、商業施設等

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会

☎ 03-3528-8305 e-mail: info@japan-pa.com

全日本駐車協会

会員メールアドレス提供のお願い

当協会から会員の皆様宛の情報発信手段は、年4回の機関誌PARKING・ホームページ及び郵送に加えて、タイムリーかつ確実に行える連絡手段としてメールを活用しています。

メールアドレス未登録の会員の方は、ご担当者及びメール配信希望者のメールアドレス等をご提供いただきたくお願い申し上げます。記入票等につきましては下記担当者までお問合せ下さい。

一般社団法人全日本駐車協会事務局

e-mail: member@japan-pa.com

電話: 03-3528-8305 FAX: 03-3528-8306

担当: 松本、船津

■ お詫び「一般社団法人全日本駐車協会 役員名簿」の 表記間違い

PARKING251号「一般社団法人全日本駐車協会 第64回通常総会報告」に掲載した役員名簿の中で、「株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント」を誤って、「株式会社サンシャイン・ビルマネジメント」と記載しました。この場を借りてお詫び申し上げます。

PARKING 2025年 第252号

<非売品>

2025年10月25日印刷 2025年10月31日発行

編集兼発行人 一般社団法人全日本駐車協会

一般社団法人東京駐車協会

東京都千代田区内幸町2-2-3

日比谷国際ビル地下1階

TEL 03(3528)8305

FAX 03(3528)8306

印刷・製本 (株)エスティ・トーニチ

都内で駐車場を運営されている方へ 駐車場案内標識のご案内

一般社団法人東京駐車協会では、駐車場への案内をスムーズにし、「うろつき運転」を減らすことを目的として、都内で駐車場案内標識設置のお手伝いをしております。

公道への設置

- ・道路占用許可をはじめとする各種許可を得て、公道上(主に歩道)に駐車場案内標識を設置することができます。

申請は協会が

- ・必要な申請手続は東京駐車協会名で協会スタッフが行います。

設置工事は協会が

- ・規格に則り、施工会社、行政機関との調整を含めて当協会が設置工事を取り進めます。

会員料金

- ・東京駐車協会の会員であれば、諸費用や保証金に会員料金の適用があります。

助成金

- ・公益財団法人東京都道路整備保全公社による助成金制度を利用し、助成金の交付を受けることができます。
(交付には条件がありますので、当協会までお問い合わせください。)



反射式駐車場名入り



反射式駐車場名なし



内照式

駐車場案内標識は、東京駐車協会の会員以外の方でも設置することができます。現在約400本の標識が都内に設置されています。

是非お気軽に当協会までお問い合わせください。

[駐車場案内標識に関するお問い合わせ先]

一般社団法人東京駐車協会

担当者：坂口 sakaguchi@japan-pa.com

TEL：03-3528-8305

伸びゆく丸の内と、
いつもいっしょに。
丸の内パークイン

「丸の内パークイン」として
20カ所・約4,700台の
広域駐車場を運営

since
1960

1960年 日本初の地下駐車場開業



PARK-IN
丸の内パークイン

<https://www.marunouchi.com/information/parking/>
Tel.03-3212-0808

飲酒運転は法律で
禁じられています。

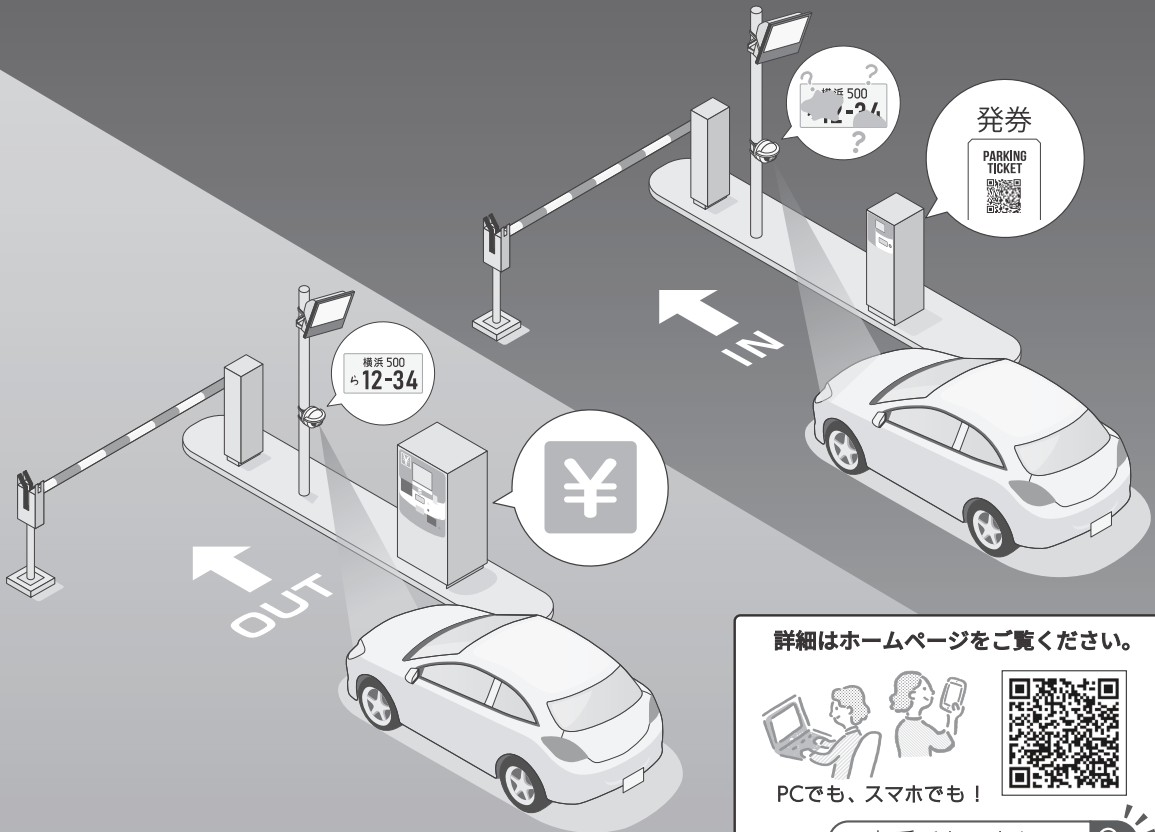
Drunken Driving Prohibited by Law.



Time & Air
AMANO

車番チケットレスシステムが

良いとこ取りのハイブリッドシステムへ



駐車場・駐輪場のお悩み、ぜんぶに 대응します。



駐車場クラウドサービス


Parking Web



調査・分析

開発設計

システム構築

設置・工事

保守メンテナンス

管理受託

経営受託

 **アマノ株式会社**

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
(045) 439-1516
<https://www.amano.co.jp/Parking/>